



安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
なお、さらに詳細な内容を「ユーザーズマニュアル」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

※「ユーザーズマニュアル」は、サポートデスク（<http://www.aterm.jp/support/>） - [機種名で探す] - [WF1200HP2] - [マニュアル] に公開されています。（2015年12月現在）

本書中のマーク説明

警告 :人が死亡する、または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 :人が軽傷(※2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い :本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

(※1) 重傷:失明、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。

(※2) 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。

(※3) 物的損害:家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

図記号の説明

警告・注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



警告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。
- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。
- ACアダプタにもものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- 本商品に添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設置しないでください。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。



こんなときは

以下の場合、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンター(☎下記「保証書」)にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

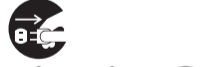
- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき



- 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき



- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき



- 電源コードが傷んだ状態(芯線の露出・断線など)のとき

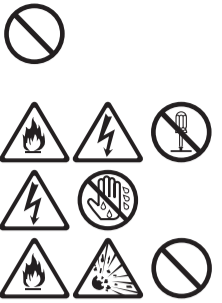


- 本商品を落としたり破損したとき



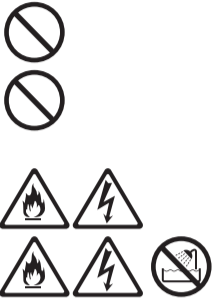
禁止事項

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。
- ぬれた手で本商品进行操作したり、接続したりしないでください。
- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。



その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。



注意

設置場所

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。

また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品は温度0~40℃、湿度10~90%の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を重ね置きしないでください。



- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 次のような使いかたはしないでください。



<悪い例>

- ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける



- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

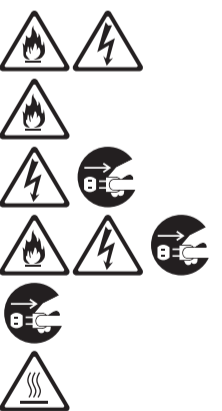


- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。
- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。



電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタ本体を持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後にACアダプタが高温になる場合があります。



禁止事項
<ul style="list-style-type: none">● 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ● 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。
<div> </div>
その他の注意事項
<ul style="list-style-type: none">● 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。 ● 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。 ● 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
<div> </div>
STOP お願い
<div> </div>
設置場所
<ul style="list-style-type: none">● 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。 ● 本商品と無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関する注意

無線 LAN では、ETHERNET ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは定期的に変更することをお奨めします。変更は、クイック設定 Web で行います。（☛「つなぎかたガイド」－「クイック設定 Web の起動方法」）暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。

「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効（「使用する」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効（「使用する」のチェックを外す）にしてください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。

<無効にする方法>
① クイック設定 Web を起動する（☛「つなぎかたガイド」－「クイック設定 Web の起動方法」）
② 「詳細設定」－「その他の設定」を選択する
※ブリッジモードの場合は、[基本設定]－[基本設定] を選択します。
③ [メンテナンスバージョンアップ機能] で【使用する】のチェックを外す
④ [設定]－[保存] をクリックする

ホーム IP ロケーション機能のご使用条件

ここでは、当社が提供するホーム IP ロケーション機能の使用条件を記載しています。ホーム IP ロケーション機能を使用する場合は、機能を有効にする前に^(※)、こちらのご使用条件をご確認ください。機能を有効にされた場合は、ご使用条件にご同意いただけたものといたします。ホーム IP ロケーション機能は、本商品をご使用になるお客様に、より便利にお使いいただけるよう、インターネットからホーム IP ロケーション名で本商品へのアクセスを可能とする機能です。本機能は、以下の場合に有効になります。

- WAN 側にグローバル IP アドレスが付与されている
- ブリッジモード時は、上位ルータが
 - － WAN 側にグローバル IP アドレスを付与されている
 - － UPnP 機能が有効になっている
- メンテナンスバージョンアップ機能が「使用する」になっている（初期値：「使用する」）

なお、機能が有効となる条件を満たしても、本商品へのアクセスが可能になるまで 1 時間程度要する場合があります。また、ホーム IP ロケーション名は、本商品固有の名前になり、変更することはできません。

(※)ホーム IP ロケーション機能の設定方法や詳細については、サポートデスク（http://www.aterm.jp/support/）－[機種名で探す]－[WF1200HP2]－[マニュアル]に公開されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。（2015 年 12 月現在）

1. 使用権

本機能の提供は、本商品をご使用いただいているお客様に対して行います。また、本商品を転売等された場合は、新たに本商品を所有されるお客様が本機能をご使用いただけます。

2. 禁止行為

本機能は、違法行為または以下の行為をされる場合、ご使用いただけません。当社が機能使用に適さないと判断した場合、予告なく機能を停止させていただきます。

- (1) 公序良俗に反する行為
- (2) 営利目的に使用する行為
- (3) 第三者の権利を侵害する行為またはその恐れのある行為
- (4) 本機能の運営を阻害する行為またはその恐れのある行為
- (5) 本機能を使用する権利を第三者に移譲する行為
- (6) 本商品の偽装をする行為

3. 免責事項

当社は本機能を提供するにあたり、機能の提供維持、安定化に努めますが、当社の対応は下記のものとなります。

- (1) 本機能の損害賠償
 - 本機能によるお客様が被る損害については、いかなる場合も当社は一切の責任を負いません。
- (2) 本機能の保証範囲
 - 本機能は本商品と当社サーバにて機能動作を確認し、保証するものとなります。本機能ご使用にあたり、お客様のご使用環境に起因する機能、性能の動作保証やお客様のデータや機器に関する保証については、当社は一切の責任を負いません。
- (3) 本機能の中断、停止
 - やむを得ない理由または当社の都合により、本機能の中断・停止を予告なく行うことがあります。
- (4) 本条件の変更
 - 本条件の改定を予告なく行うことがあります。

4. 機器情報の扱い

この機能に必要な本商品の機器情報を当社のサーバに通知いたします。

- (1) 通知される機器情報
 - お客様がご使用になっている本商品の機器情報
 - お客様がご使用になっている本商品のネットワーク情報
- (2) 情報利用の目的について
 - 本機能の実現と本商品や本機能の改善、向上のためにお客様の機器情報を利用いたします。お客様の機器情報は、本機能およびメンテナンスバージョンアップ機能（☛左記）を実現するために利用し、これ以外の目的では利用いたしません。
- (3) 情報の管理
 - 当社が利用するお客様の情報につきましては、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。
 - 当社が第三者と連携して実施する本機能につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

5. その他

本機能は国内法に従い対応します。また、関連した紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意所轄裁判所とします。

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品で使用しているソフトウェアのライセンス条文は、サポートデスク（http://www.aterm.jp/support/）－[機種名で探す]－[WF1200HP2]－[マニュアル]に公開されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。（2015 年 12 月現在）

電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n(5GHz)、IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャンネルは 36,40,44,48ch (W52) と 52,56,60,64ch (W53) と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch (J52) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

 	IEEE802.11b/g/n	・ W52 (5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch)、
 	IEEE802.11a/n/ac	W53 (5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)、
 	Js2 W52 W53 W56	W56 (5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)が利用できます。

5GHz 帯で接続する無線 LAN 端末は、以下の表示があるものを推奨します。

- ・ W52 (5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch)
- ・ W53 (5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)
- ・ W56 (5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)
- W53 (52/56/60/64ch) または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。なお、デュアルチャネル（HT40）を「使用しない」に設定変更することで改善することもあります。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm インフォメーションセンター（☛表面「保証書」）にお問い合わせください。
- 2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4	2.4	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
	DS/OF:	DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
	4	: 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■ ■ ■		: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- 本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用率向上のため、チャネル設定として、CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならぬ場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。）

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

	VCCI-B
--	--------

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社はいっさい責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました が、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっでは能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。